

## 28年度各担当報告（成人寮）

### 【平成28年度】（サークル活動）

毎週金曜日、ジャパントレーニングセンターで希望者を募り、エアロビを行っています。日頃の運動不足の解消、肥満防止、楽しさを求め、活動してきました。インストラクターの先生も理解があり、無理のないメニューで音楽に合わせて、楽しく行っています。利用者さんも自主的に参加できています。

毎週月曜日、新たに3B体操を取り入れました。インストラクターの先生1名と成人寮5名・厚生園5名の利用者さん交代で実施しています。音楽に合わせてストレッチから始まり、2人1組のペアになり、ボールやベルを使い競い合いながら楽しく参加しています。まだ数ヶ月しか実施していませんが、利用者さんは、楽しみにしています。

### 【平成28年度】（外出）

宿泊・個別・日帰り・誕生日外出を行っています。

新成人寮での生活も慣れてきたので、今年度は、宿泊旅行が、復活しました。希望の内容により4人から9人の小グループで月1組実施。宿泊の難しい方は、個別外出として、希望の職員と1対1で1日出かけてきました。

日帰り外出は、年1回、1人又は、2人で、買い物やドライブなどに行きました。

誕生日外出は、1日、希望の職員独占で、好きなことが出来ました。

また、回数は十分ではありませんが、週末など、希望により、買い物などに行けるようになってきています。

今は、大勢での外出は困難になってきており、観光バスでのお出かけが懐かしいです。

### 【平成28年度】（忘年会）

昨年と同様にローブ＜旧霞ヶ浦観光ホテル＞にて開催をいたしました。

各利用者様は恒例のスーツ等の正装で、まずは、乾杯、続いてコース料理が運ばれ、思い思いに堪能しておりました。バランスの取れた料理が多く、利用者様からは好評でした。飲み放題のドリンク類は、ソフトドリンク・ノンアルコールビール等、皆さんが楽しめるものや喜んで頂けるものが多かったと思います。その後、「思い出のアルバム」として、一年間の行事を中心に、皆様の回顧録としてメモリアル上映をいたしました。上映中は各利用者様の思い出を振り返りながら会場全体が和やかな雰囲気になっておりました。

その後は、職員出し物を実施。スタッフ2名でのギター演奏と生ライブを行い、続いてブレイクした「ピコ太郎」の「PPAP」をスタッフ2名利用者2名のコラボレーションで歌と踊りを披露し、皆様からは拍手喝采で、盛り上がっておいりました。最後は参加者全員でカラオケを行い、雰囲気も最高潮の中、忘年会を締め括る事が出来ました。

#### 【平成28年度】（盆踊り）

本年度は、旧成人寮グラウンドで、8月4日に実施致しました。前年と同じように休日に来られない方の為、平日に開催しています（土浦のきらら祭りと同じ日にならないよう配慮）。5月から、実行委員で話し合いを実施。模擬店、お神楽等の企画を話し合い、利用者さんや来園されたお客さんも楽しめる様なイベントにしようと取り組みました。バスが2台になった事で、利用者の送迎が早くなり、盆踊り終了後の入浴も前年度より、スムーズに出来ました。来年も、成人寮、厚生園、ぼだいじゅ、なでしこ、コスモス、近隣の方々の協力の元、利用者さんや来園されたお客様が楽しめる様な盆踊りにして行きたいと考えています。又、時間の関係で毎年実施していた花火は中止しています。

#### 【平成28年度】（室外作業班）

毎日、バスで旧成人寮へ、移動して、活動しています。本年度は、季節に合わせて野菜作りも行っています。夏場は、除草作業を中心に活動をしています。冬場は、落ち葉集めや、近隣の方の依頼により、剪定した栗枝集めを行っています。

平成29年3月より室内での作業も取り入れ、雨の日等の活動が広がっています。多岐にわたる工程で、ハイプル桁（ダンボール）を丸める作業・テープ止め・箱の運搬・箱に入れる作業などを利用者の能力に合わせて行っています。最初は、出来ない事も多くありましたが、慣れてくるとスムーズに作業に取り組めるようになりました。毎週金曜日の午後は、ドライブへ出掛けています。ドライブは楽しみな様で支援員へドライブに行きたいとアピールをしてくれます。

#### 【平成28年度】（室内作業班）

スノーレン室が完成し、利用する方の好みもそれぞれ違っているのが分かってきました。成人寮以外の方の利用も可能です。室内班メンバーの方は年齢も上がり、健康維持を大きな目的とする方が増えてきました。日頃のケアの大切さを痛感しています。生産活動は難しくなっており、ウォーキングや園芸などを中心に行なう様になってきています。本年度はスタッフ数が十分でなかった事もあり、個別のケアにあまり時間をとることが出来ませんでした。次

年度は育児休業を終えたスタッフも復帰するため十分な職員数となるので、できるだけ個別のケアに重点を置きたいと思っております。又、おやつ作りなど楽しめる活動も取り入れ、日々単調にならないようプログラムを工夫しました。今後も楽しめる活動は継続して取り入れて行きたいと思っております。

#### 【平成28年度】(受注班)

法人4事業所から、29名の方が参加しており、(途中28名)、いな穂にて作業に取り組んでいました。作業内容は主に、太田商工から委託された作業(マッキーペン入れ・ボールペン入れ・替え芯入れ等)を中心に行っており、それに加えて内田化工から委託されたフルーツキャップと運動を取り入れた(ウォーキング・健康体操・運動プログラム)プログラムをバランスよく組み込んでいます。また、「アシュワガンダ」という植物を使った作業も期間限定で行っており、次年度も実施する予定でいます。

#### 【平成28年度】(保健衛生)

平成28年度は厚生園にてインフルエンザの集団感染が発生してしまいました。しかし、発生直後から寮間の交流中止をしたことや、ユニットケア、個室環境であった事、室内、トイレ、手すりなどの消毒、手洗い、職員のマスク着用を徹底できたことで数名のみで感染の拡大を防ぐ事が出来ました。今後も研修や勉強会を通じて職員の意識向上に努め、出来るだけ感染症を発生させない為に努力していきたいと考えています。

通院全般に関しては利用者さんの高齢化に伴い身体状況の低下が著しく今まで元気だった方も少しずつ体調の変化が見られ、多くの方々が複数の医療機関を利用し通院を実施しています。体調の変化や苦痛を訴えられない事で原因の究明が遅れたり、何度も通院するケースや、転倒による骨折、白内障のため視力低下に伴う手術、てんかん重積発作などで入院するケースも見られました。どちらのケースも無事に退院する事が出来ました。

近い将来的にはご本人やご家族様の意見を最重視したアドバンスケアプランニングも考慮して行かなければなりません。同時に、意思疎通の難しい方苦痛を訴えられない方への支援も今後どのように進めるべきか考える必要性を強く感じています。

これからますます、利用者さんの高齢化が進むため適切な健康管理、必要に応じた通院や往診を活用し、利用者さんの安全で健康な生活が提供出来る様に努めていきたいと思っております。